

北海道電力・泊原子力発電所見学について

1. 概要

北海道電力(株)・泊原子力発電所を見学し、原子力発電所の構造、機能について学びます。

まず、とまりん館にて、原子力発電所の概要について、概念的に学びます。

次に屋外においては、自然災害などに対する防災体制に係る防潮堤等を見学します。

屋内設備においては、制御設備、発電設備、更に原子炉設備、燃料取扱い設備がある管理区域に入ります。特に今回は、北海道電力のご協力により、実際の原子炉格納容器内に入域できます。これは、滅多にない、非常に貴重な機会です。

最後に、シミュレータ設備に実際に触れ、原子炉の運転を体験します。

2. 日時

令和3年10月24日(日)9時～18時30分

3. 場所

北海道電力 泊原子力発電所

〒045-0201 古宇郡泊村大字堀株村字山ノ上 219 番地1

TEL 0135-75-3331

<https://www.hepco.co.jp/energy/atomic/atomic.html>

4. 見学日程

日程詳細は添付1を参照のこと。

集合日時:10月24日(日)8時50分

集合場所:北海道大学工学部正面玄関前(添付2:キャンパスマップ参照)

緊急連絡先

中島 宏 090-8844-3112

011-706-7834(研究室)

5. 食事

昼食は、とまりん館にて、用意します。

6. 事前学習

2021年10月18日

ANEC事務局

下記の学習資料により興味のあるものを選んで、できるだけ事前学習をしてください。見学がより実りのあるものになります。

その際、興味のある点、質問事項を2～3点あげて、ANEC事務局に回答してください。締め切りを10月21日(木)とします。

#01「原子炉工学」

<https://ocw.hokudai.ac.jp/lecture/backend-nuclear-reactor-engineering>

- ▶ 原子炉工学概論Ⅰ－原子炉のしくみ－(千葉豪)
- ▶ 原子炉工学概論Ⅱ－いろいろな原子炉－(千葉豪)
- ▶ 原子炉工学Ⅰ－核分裂連鎖反応と臨界－(千葉豪)
- ▶ 原子炉の動特性(千葉豪)
- ▶ 原子炉の熱工学(坂下弘人)
- ▶ 加圧水型軽水炉(PWR)(島津洋一郎)
- ▶ 原子力発電所の安全性確保の考え方・評価法の枠組みと東電福島第一原発事故後の安全性向上の現状(杉山憲一郎)

7. 注意事項

- ・身分証明書を、現地にて、確認します。**先に登録した身分証明書を必ず携行してください。**身分が確認できない場合、原子力発電所に入域できません。

- ・**緊急事態宣言が発令され、北海道以外からの移動自粛の指示が出た時点で、中止します。**

- ・体温が37.5度以上ある、味覚を失った等、**体調不良の場合は、直ちに連絡してください。**
- ・実習前2週間に発熱等あった場合には実習参加を自粛してください。
- ・感染対策のための除菌等はこまめに行ってください。

- ・泊原子力発電所見学にあたっての諸注意事項を遵守してください。
- ・発電所構内見学時は北海道電力にて用意した作業服、安全靴を着用してください。

以上

泊発電所見学会スケジュール

日 時	内 容	備 考
～8:50	北海道大学工学部 正面玄関前集合	
9:00	札幌出発(貸切りバス)	
11:00頃	とまりん館到着(身分証明書確認)第2会議室	
11:10～11:50	とまりん館見学	
12:00～13:00	【昼食】第2会議室	
13:00～13:30	【概要説明】	
13:40～13:50	発電所へ移動(発電所バスにて) (茶津守衛所から入構)	
14:00～14:30	【泊発電所 見学】 《屋外設備》 ・展望台(全体説明) 泊発電所構内を一望できる展望台にて全体配置説明 ・防潮堤・防潮壁(車窓)	
14:40～15:00	《屋内設備(3号機)》 (非管理区域) ・中央制御室・タービン建屋(見学者ルートより案内)	
15:10～15:50	(管理区域) ・原子炉格納容器内(スプレイング、PAR、イグナイタ等) 実際に格納容器内に入域し、水素爆発を防ぐために設置した静的触媒式水素再結合装置(PAR)、電気式水素燃焼装置(イグナイタ)等を見学	
16:00～16:20	・燃料取扱棟(検査室) 使用済燃料が貯蔵されているピットを見学 《シミュレータ設備》 中央制御室で見学した総合デジタル運転操作盤のシミュレータに触れる	
16:20～16:30	とまりん館へ移動	
16:30	見学会終了 (18:30頃 札幌着)	

